【G3阪急杯 過去傾向】

・前走人気と着順

過去10年のデータから、
美味しそうなデータのみ抽出してみますと・・・

前走で1人気から5人気に支持されていた馬が
10年間の3着以内馬30頭中20頭を占めておりました。

さらに、その前走で4着以下に負けていた馬に限定すると
複勝率と複勝回収率が向上する事が分かりました。

前走(クラス不問)	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1~5人気	7- 6- 7-47/67	10.4%	19.4%	29.9%	122	135
↓↓↓						
前走着順	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
4着以下	4- 5- 5-26/40	10.0%	22.5%	35.0%	124	189

・前走距離

10年間の3着以内馬30頭の内、

前走1400mだった馬が12頭。

前走1600mだった馬が11頭。

前走が1200m以下だった馬は7頭。

回収率が高いのは「前走1600mだった馬」

大穴は前走1200m以下だった馬。

前走距離	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
同距離	4- 5- 3- 34/ 46	8.7%	19.6%	26.1%	81	79
今回延長	2- 2- 3- 55/ 62	3.2%	6.5%	11.3%	33	91
今回短縮	4- 3- 4- 43/ 54	7.4%	13.0%	20.4%	117	81

距離短縮の場合は、前走で上り2位以内の末脚を使っていた馬が高期待値です。

前走距離	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1600m	4- 3- 4- 43/ 54	7.4%	13.0%	20.4%	117	81
↓↓↓						
前走上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1位～2位	2- 1- 1- 6/10	20.0%	30.0%	40.0%	354	145

・血統

サンデー系と欧州型の組合せが17頭馬券になりました。

また、父か母父にデインヒルの血を持つ馬が
14頭出走して7頭が馬券に絡んでおり、
レースのスパイス血統として注目です。

注目馬は・・・

前走1600mで4人気16着に惨敗した
母父にデインヒル系を持つ

・カルロヴェローチェ

父:シルバーステート(ディープ系)
母父:欧デインヒル系

サンデー系×欧州型の配合馬。

1200m重賞で大活躍したシーイズトウショウの牝系で、
牝系ファミリー全体の獲得賞金の70%を1400m以下で稼ぐ
スプリント牝系の出身馬でございますな。

G3ファルコンS(1400m)の2着馬でもあり、距離短縮で変わり身を。